

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M343A104		中国語Ⅱ (ChineseⅡ)					国際力強化科目群		対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
	1	1	医学部先進医療科学科	後期	月1	日本語		単独						
担当教員	氏名 鈴木 晶													
	E-mail chenjing@nm.beppu-u.ac.jp 内線													
授業の概要	外国語を学ぶのは、聞くこと、書くこと、話すことである。「中国語Ⅱ」の授業は、「中国語Ⅰ」を学習した上で、さらに難しい語彙、文法を学び、一定程度の語彙及び文法をマスターした上で、会話の練習を行う。中国語による挨拶、自己紹介、買物などの場面を設定し、会話を学ぶ。この授業では中国語での簡単な単語とフレーズを理解し、使用することで具体的なコミュニケーションを行うことを目指す。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 異なる場面での挨拶を表現できる											○			
目標2 基本文法の学習できる												○		
目標3 会話の単語数を増やし、会話で表現することができる									○					
目標4 旅行用の会話ができる										○				
目標5 日常会話ができる										○				
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)									2	2	2	4		
授業の内容														
1 文法1 主語＋動詞＋目的語														
2 文法2 主語＋動詞＋人物＋もの														
3 文法3 主語＋動詞1＋動詞2														
4 語彙1 日常会話に関する														
5 語彙2 日常会話に関する														
6 語彙3 旅行に関する言葉														
7 聴解1 買物の場面														
8 聴解2 郵便局														
9 聴解3 空港														
10 読解1 交通機関に関する標識														
11 読解2 観光案内図														
12 読解3 観光地														
13 会話1 病院														
14 会話2 タクシー														
15 自己紹介など														
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認		○	・発音のチェック発表してもらう。				工 夫 の 他 の						
	B:意見の表現・交換		○	・作文の口頭発表をしてもらう。										
	C:応用志向		○	・授業中、グループやペアによる会話練習をしてもらう。										
	D:知識の活用・創造		○											
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		配布資料等の情報を必要に応じて予習する(15時間)											
	事後学修		小テストや配布資料を用いて復習する(15時間)											
	想定時間合計		30											
教科書	鈴木晶『やさしい中国語 基本文型と単語』、関東図書、2021年、1980円、ISBN978-4-904006-22-1													
参考書	園田茂人編『日中関係史 1972－2012 IV民間』、東京大学出版会、2015年、ISBN978-4-13-023067-4													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末テスト		60%			○							
	小テスト		20%		○								
	発表		10%				○						
	授業の取り組みの姿勢		10%	○									
注意事項		特になし。											
備考													
リンク													
	URL												